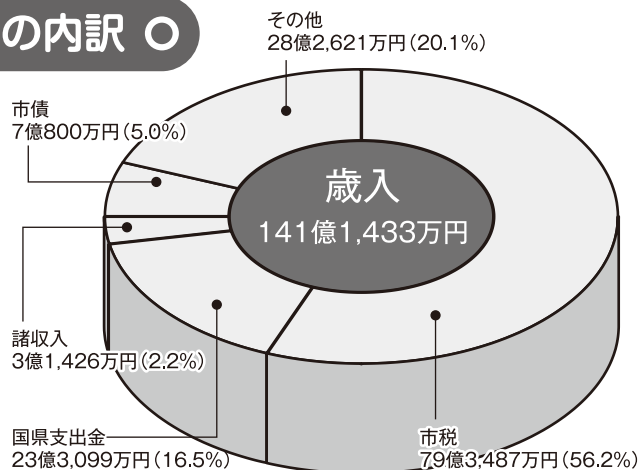
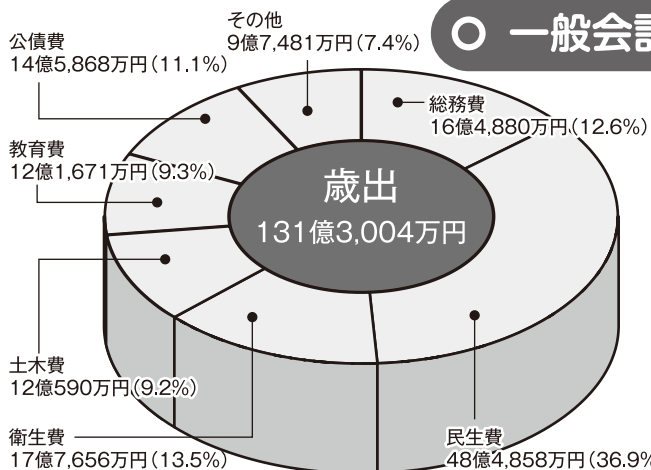


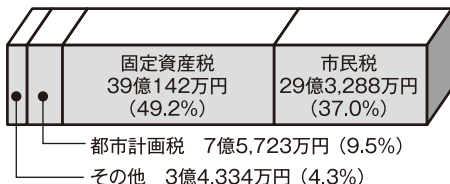
○ 一般会計の内訳 ○



○ 歳出内訳 ○

- 総務費 ……16億4,880万円  
◎総務管理費 ◎徴税費など
- 民生費 ……48億4,858万円  
◎社会福祉費 ◎児童福祉費  
◎生活保護費
- 衛生費 ……17億7,656万円  
◎保健衛生費 ◎清掃費
- 土木費 ……12億 590万円  
◎道路橋りょう費 ◎都市計画費  
◎交通安全対策費など
- 教育費 ……12億1,671万円  
◎小中学校費 ◎幼稚園費  
◎社会教育費など
- 公債費 ……14億5,868万円
- その他 ……9億7,481万円  
◎議会費 ◎農林水産業費  
◎商工費 ◎消防費など

○ 市税内訳 ○



○ 歳入内訳 ○

- 市税 ……79億3,487万円  
◎市民税 29億3,288万円  
◎固定資産税 39億 142万円  
◎都市計画税 7億5,723万円  
◎その他 3億4,334万円  
【軽自動車税、市たばこ税】
- 国県支出金 ……23億3,099万円  
◎国 15億 739万円  
◎県 8億2,360万円
- 諸収入 ……3億1,426万円
- 市債 ……7億 800万円
- その他 ……28億2,621万円  
◎地方譲与税  
◎地方消費税交付金  
◎自動車取得税交付金  
◎地方特例交付金  
◎地方交付税  
◎使用料および手数料  
◎財産収入 ◎寄附金  
◎繰入金 ◎繰越金など

一般会計のあらまし

平成22年度の本市の一般会計決算状況は、歳入決算額141億1,433万円に対して、歳出決算額131億3,004万円で、差し引き9億8,429万円となりました。このうち、総務費などの財源として2,377万円を平成23年度に繰り越していますので、実質的な収入と支出の差額は9億6,052万円となっています。

この決算額を前年度と比較すると、歳入で3億1,932万円の減、歳出で7億8,501万円の減となっています。

歳入の主なもの、市税が79億3,487万円で、全体の56.2%を占め、以下、国県支出金の順となっています。

歳出の主なもの、民生費で、48億4,858万円となり、全体の36.9%を占めています。

健全化判断比率  
について

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく高浜市の平成22年度決算における指標は次のとおりです。なお、健全化判断比率については、監査委員の意見書を付して、9月定例会議にて報告をしました。

	健全化判断基準	早期健全化基準	説明
実質赤字比率	—	13.62%	実質赤字比率とは、一般会計などの黒字か赤字かを判断する指標で、家計で言えば、年収に対する赤字の割合を示したものです。
連結実質赤字比率	—	18.62%	連結実質赤字比率とは、実質赤字比率を、公営企業会計を含めた全会計に適用したものです。
実質公債費比率	6.5%	25.00%	実質公債費比率とは、家計で言えば、年収に対する年間の借金返済額の割合を示したものです。
将来負担比率	12.3%	350.00%	将来負担比率とは、家計で言えば、年収に対する将来見込まれる借金(全会計)の割合を示したものです。

平成22年度決算に基づき健全化判断比率を算定したところ、いずれの指標についても健全でありました。